

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成29年12月19日(火)

第23号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」—ヘレンケラー—

◆県内外大会結果・合宿・コンクール等

- ・男子ソフトテニス部九州新人大会(9日～10日)で見事団体3位入賞。全国大会への出場権獲得！個人の部でも準優勝。出場した稲福蓮音君(2-4)、山田裕也君(2-4)、久手堅健太君(2-4)、西銘千尋君(2-6)、座波晃大君(1-3)、富田海君(2-6)おめでとう。全国大会に向けて頑張ってください！

■校内外の小さな変化・成果がありました！気がついたでしょうか？

- ・早朝のゴミ拾いの状況ですが、部室前、1学年ラウンジ周辺のゴミがみるみる減ってきています。感謝！
- ・12月12日から始まった3日間のインターシップですが、各方面から高い評価と感謝の声が届けています。〇〇整形外科では、介護された利用者が感激し、プレゼントまで頂いたそうです！日頃、那覇西という学び舎でどのような教育活動がなされているかが垣間見られるということでした。(整形外科)「釈迦に説法」ですが、お世話になった会社等へは真心を込めてお礼状を書きましょう！
- ・芸術鑑賞15日(4～6校時)：放送部のアウリスと鑑賞する態度がコンサートを盛り上げてくれました！
- ・部活動生大清掃25日(月)16:00～17:00各部割り当てを細かく企画した、指導部金城康太(化学)先生に感謝。康太先生は男子ソフト部副顧問、懸垂幕担当でもあります。**We are eager beaver!**
- ・夜間街頭補導：12月1日(金)宮平斉先生、大城直輝先生、山城光先生が参加されました。間違えても「捕らえてみれば我が子なり」にならぬよう深夜徘徊厳禁です。「泣いて泣いた」マブヤマブヤ。

武辺 話「今昔物語37年前の思い出(2-135の巻)」編 PART2

「明日から体育館で合宿するから準備するように」と生徒に指示したところ、翌日、生徒曰く、「先生、お母さんが合宿費出せないってよ」にびっくり仰天。アサミ。「お金は出せるだけでいいから」と英断。しかし、合宿初日、集まったお金は何と伊藤博文が6枚(当時の千円札)。これで2泊3日の合宿？愕然としました。しかし、**"It's about learning to Dance in the Rain!"** よっしゃー！とばかりに、ドゥッヂャー、ソウヂャー、チョーデー(友人、親戚、兄弟)に電話をかけまくり、「冷蔵庫にある、まだ賞味期限の切れていない、食べ物よろしく」と話し、職員へも協力をお願いしました。すると次々に卵、ポーク、野菜、米 etc が届けられ、合宿の食材はなんとか準備OK！合宿中の練習時間は1日6時間超え！夜中まで練習を課しました。半年間で週末の合宿は10回を超えました。朝夕で計16本の長距離走。なわとび4000回。プールのバスケット練習。その結果、個人技術は目に見えて上達し、練習試合ではありますが、3勝を上げることができました。実家まで野菜を取りに行ってくれた城田先生

- ・垣花先生ご夫妻、ともに泊を共にしてくれた嶺井顧問とは私がJ-テニスを離れても長く交流が続きました。ポークと卵が大好きだったチーム思いのフーサーとマゼッジャーのアーミー、時々ピョウタ徳子、木の枝で後方から私につつかれながら走らされたA子とB子(2人は体重がそれぞれ18kg、16kg減となりました。)

古蔵中出身のアーケ、寄宮出身のジュンパイ、ジュンらとの思い出は今でも私の「心のふるさと」に彩りを添えています。当時、バスケの猛練習風景をとなりのバレーコートから見ていた高良さんは今、仲座スパー(本校に隣接するスパー)で、夜中3時から働いています。会う度に「先生、頑張っているねー」の一声と彼女のスマイルは、私の情熱発電機に不可欠な充電器(太陽電池)の一つです。 **"Time flies!"**

「ふるすとは(心の) 籠球(バスケボールの意:ろうきゅう)に触れ 迎える道(思い出すの意)」校長作

*残念ながら顧問の大冨選手で大会申込を忘れてしまい、春の大会に出場することは叶いませんでした！